

富山地区学校再編検討委員会第6回会議 会議録

日時 令和8年1月20日（火）

午後7時00分から午後7時30分まで

会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール

【当日関係者】

検討委員	16人（1人欠席）
オブザーバー	3人
傍聴人	1人
報道	0人
事務局	13人

1 開会

進行 皆さん、こんばんは。

本日は、大変お忙しい中御出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の会議の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課長の鈴木と申し上げます。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、お手元に配付してございます、資料の確認をお願いします。

まず、「会議次第」。

次に、資料1「富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について」。

次に、資料2「南房総市立小学校・中学校 児童生徒数 推移見込み(富山地区)」。

配付物は以上の3種類となります。

不足等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

また、本日から、オブザーバーとして教育委員の稲葉泰様の御同席をお願いしておりますので、御報告いたします。

それでは、ただ今から、富山地区学校再編検討委員会第6回会議を開会いたします。

会議は次第に沿って進めさせていただきます。

2 委員長挨拶

進行 続きます、次第の2、委員長挨拶。

戸倉委員長から挨拶を申し上げます。

委員長 はい。こんばんは。

お疲れのところ、御苦勞様でございます。

富山の委員会では、統合に向けて進めましょうという話になっておりますけど、富浦さんのほうがまだそこには至ってないわけでございます、もしというのはおかしい話かもわかりませんが、もし富浦さんのほうが同じような考えでしたら、合同会議という運びになって、また学校名だとか、いろいろな要件を満たしていつて、1年後というわけにはいきませんが、2年後・3年後には統合中学という運びになろうかと思えます。

しかし、そこまではまだちょっと遠いようでございまして、この1年間、富浦の協議内容によって少しお待ちくださいということで、1年間も何にもないままここまで来てしまったんですけども、年度の切り替えということで、また委員さんも交代の時期が迫っております。会議を2・3回やった富浦さんのほうの今の状況を、この後説明をしていただきまして、その内容によって、また次の役員さんにうまく引き継いでいただければありがたいなというふうに思っております。

一つ、よろしく願いを申し上げまして挨拶に代えます。御苦勞様です。

進行 ありがとうございます。

3 教育長挨拶

進行 続きます、次第の3、教育長挨拶。

三幣教育長から挨拶を申し上げます。

教育長 改めまして、こんばんは。

御出席いただいて、大変ありがとうございます。

また、今委員長のほうからもありましたけど、早々と統合の方向でということでも結論をいただいているわけですけど、富浦のほうがなかなか結論が出ませんで、お待たせするだけで、大変申し訳なく思っております。

富浦のほうの状況ですけど、1月7日に再編検討委員会を開きました。

この後、細かくは御説明申し上げますけど、6月の20日過ぎに富浦地区の再編検討委員会を開きまして、その後、保護者に説明会をしてほしいというPTAのほうからの要請がありまして、7月に保護者に説明会を開きました。

その後、保護者としての結論を出していただくということだったんですけど、12月になってから、ようやく富浦地区の保護者としての結論が出たということで、再編検討委員会で報告いただきました。

その内容についてですが、具体的にはまた担当のほうから説明申し上げますけど、保護者の皆さんは御存知のすぐ一でアンケートを取って、一人でも多いほうが結論だというような内容でアンケートを取ったわけですけど、私も申し上げたんですけど、一人でも多いほうを結論にするということは、どこでPTAの皆さんの了解を取ったんだということを聞きましたら、それはアンケートの一番最初に書いてあるから、それで理解いただいたということで、私からすればいささかちょっと乱暴だなと。

結果については、200人の回答があった。そのうち109人が反対、賛成が91人、その差は18人なわけです。しかも、200人の回答があったわけですけど、PTAの会員数は192人なわけです。ですから、もうそこで8人多く、回答がダブっているということですね。18人の差というのは、もう当然のごとく、9人が意見を変えれば同じ数になるわけですね。ですから、そのアンケート自体の信憑性はないだろうというようなことも、私は話をしたつもりだったんですけど、いずれにしても、そういうような中で、反対が多数なので統合はしないということの報告がありました。

中身のほうですけど、後で報告がありますけど、反対の人たちは、大雨が降った

ときはどうするんだというような内容でありまして、賛成の方の意見は、少ない人数だからやはり考えていかなくちゃいけないというようなことがありました。

私のほうとすると、そういうものも含めてアンケートをもとにして、賛成の人・反対の人を呼び、議論して、結論を出していただきたいということだったんですけど、PTAのほうは、もうこれで精一杯だ。賛成意見・反対意見を分析したりするのはもうできないということです。教育委員会がそれをやるならやってくれということです。私どもは今、賛成・反対意見を整理しています。

この後ですね、3月12日・13日と、保護者への説明会・地区の人たちへの説明会を予定しています。その際には、私どもが今整理しています、賛成意見・反対意見はどんなものがあるかということについて、今申し上げていることを含めて、私どもは説明会でお話するつもりでいます。その後、3月の26日に再編検討委員会を開いて、議論していただきます。

ただ、区長さん方の委員ですね。その方たちのお考えは、後で説明しますが、統合のことを考えていかなくちゃいけないんじゃないかと、少ない人数で子どもたちの中学校生活を送らせることを、やはり議論していかなくちゃいけないんじゃないかというのが、1月7日の再編検討委員会での区長さん方の御意見でした。

いずれにしても、説明会・再編検討委員会を、私どもは3月中にやる予定ですので、大変申し訳ないんですけど、その結果を富山地区の皆さん方にはまた待っていただくということになって、この点については重ねてお詫び申し上げます。

もう一点ですが、この2年間待っている間に、子どもの数の状況が変わってきていまして、当初皆さん方にお示ししたときには、富山地区はだいぶ余裕があるなど思っていたんですけど、資料の2になるかと思えますけど、富山地区の2歳児・1歳児あたりは、5人とか9人という一桁の数が出てきておりまして、いずれにしても、私どもが考えていますように、子どもの数が少なくなっていくので、隣接している富浦地区・富山地区で、学校再編ということについて検討していただかなくちゃいけないということはより強くなってきていますので、また御理解いただければと思います。

いずれにしても、この後、富浦地区の状況、あとは富山地区の子どもの推移ですね。こういったものについて御提案申し上げますので、忌憚のないところで御

意見いただければ大変ありがたいと思っております。

どうかよろしくお願いいたします。

進行 ありがとうございました。

4 報告等

進行 それでは、次第の4、報告等に移ります。

(1)「富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について」、事務局から説明いたします。

事務局 それでは、次第の4、報告等の(1)「富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について」を説明いたします。教育長からのお話と重複する部分もあるかと思いますが、改めてお聞きいただければと思います。

資料1を御覧ください。

富浦地区では、前年度に引き続き、学校再編の方向性について継続審議となっており、今年度1回目の検討委員会以降、保護者による意見集約が行われておりました。年明けの1月7日に、富浦地区で第7回会議が開催され、その概要を資料にまとめております。

会議では、まず保護者委員から小・中学生の保護者対象に行われたアンケートの結果報告があり、富浦中学校と富山中学校の2校の統合案については賛否が拮抗し、僅かに反対が多い結果となったとの報告がありました。

保護者委員において、統合の是非を問うアンケートの他に、統合に関する自由意見調査を行っており、おもな賛成意見と反対意見について資料の中ほどに記載してあります。

賛成意見は、生徒数の増加により、友人関係の広がりや行事の活発化、地域を越えた交流が生まれ、いろいろな価値観や考え方に触れる機会が増える。部活動の活発化等、子どもの教育環境に良い影響があると考えた意見等がありました。

また、反対意見は、通学路や通学時間、災害時の対応などに対する不安が挙げら

れ、また、統合する地域をもっと広域で検討するべきなど、統合の枠組みに関する意見がありました。

一方、他の委員からは、反対意見の中にも統合そのものに反対しているわけではないものも見受けられること、また、保護者アンケートの賛成意見に書かれている「友人関係の広がりや行事の活発化、地域を越えた交流が生まれ、いろいろな価値観や考え方に触れる機会が増える」というような内容は、子どもの成長や今後に大きく影響を与える要素と考えられることなどから、単に反対が多かったという結果をもって、再編に関する検討をやめるべきではないとの意見が出ました。

保護者委員は他の委員の意見を受け、反対多数という結論ではなく、統合について態度保留としたいとしつつ、これ以上の意見集約は困難であり、保護者からの自由意見調査書を教育委員会において精査し、新たな提案をしてもらいたいということでした。

これらを受け、富浦地区学校再編検討委員会としては、富山中学校との再編の方向性についての決断を保留することとなりました。

今後については、3月に富浦地区の検討結果について地区への説明会を行う予定で、保護者アンケートの精査を行うことを含め、学校再編の検討については、来年度以降行っていく方針となっています。

今回、富浦地区では結論を保留するということになっており、再編の検討については、今後の状況の変化に期待を込めて、来年度以降、新たな状態で取り組むことを目指す意味で、このような流れとなりました。富浦地区で行う3月の説明会の結果次第では、また状況が変わることもあるかも知れませんが、その際はまた、富山地区の検討委員会の皆様に御説明をしたいと思います。

以上で報告を終わります。

進行 報告が終わりました。

御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

なお、議事録を作成いたしますので、挙手の上、お名前を述べてから御発言くださいますよう、御協力をお願いいたします。

《しばらくの間》

進行 よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、報告等の(2)「富山地区の今後の児童数推移について」、事務局から説明いたします。

事務局 それでは、次第の4、報告等の(2)「富山地区の今後の児童数推移について」を説明いたします。

資料2を御覧ください。

今年度1回目の会議の際にも、生徒数の推移について御説明をしておりますが、今後の富山地区の推移見込みについて、今一度御説明をしたいと思います。

こちらの資料は、富山地区の令和7年5月1日時点の子どもの人数と、それをもとにしたクラス数の推移を表したものです。

左上の表を見ますと、1歳から中学3年生までの人数と、特別支援学級に該当している児童生徒の人数、そして特別支援学級の人数を差し引いた普通学級の人数が出ております。1歳児から6歳児については就学前のため、特別支援学級について考慮されていない数字となっております。この水色の行の人数をもとに階段状の表を作成しており、こちらは小学校・中学校それぞれの各学年の普通学級の人数とクラス数となっております。

富山地区は現在、小学校も中学校も各学年一クラスとなっておりますが、その一クラスあたりの人数の減少の仕方も、大変厳しい数字になっていることが読み取れるかと思えます。現在の中学校では、一クラス30人前後の生徒数となっておりますが、今の小学1年生が中学校に上がる令和13年度以降になると、一クラス10人台の人数となっていきます。さらに、6歳以下の子どもの人数が非常に少なくなっていることから、表にはありませんが、令和14年度の小学校において、現在の1・2歳の子どもたちが小学2・3年生になる時、複式学級に該当してくることが予想されています。

なお、今年度12月末時点の富山地区の出生数は、9人となっております。残り3か月ということを考えますと、今年度の出生数も非常に少数であると予測できる

状況です。子どもたちの人数推移としては、この委員会の発足時よりも厳しい状況となっており、人数の減り方も、富浦地区と比較しても深刻な傾向にあります。

富山地区の検討委員会で、統合の方向性で合意いただいてから2年という期間が経ち、委員の交代もあり、それぞれ引き継ぐ中で、本日も会議に御出席いただいているところですが、この人数の状況を改めて見ることで、今一度皆さんと現状の共有ができればと思い、御説明をさせていただきました。

以上です。

進行 報告が終わりました。

御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

委員 すいません。PTAの役員をしております。よろしく願いいたします。

一点確認させていただきたいんですが、今のこの推移の表を見ると、小学校から中学校に上がるにあたって、小6から、翌年度になれば中学校1年生に同人数が加算されていて、中学生の人数が算定されているように思うんですけども、実際問題、私の息子なんかの代も、やはりうち5名とかはもう私立の学校に通ってしまうという方がいるような状況だと思います。それはたぶん毎年そのような環境だとは思いますが、おそらく人数が減ってくると、やっぱり競争をさせたいとかという、いろんな富浦地区での御意見も含めて、私立含めて生徒数が多い学校のほうで競争させたいというような親御さんが、やはり非常に多いのではないかとこのように思うんですけども、現実問題、例えば当年ですとか来年度に中学校に上がるような生徒さんで、30人のうち2割が私立に行くですとか、そのまま進学しない、富山学園の中学校に通わないとかというような現状の実績というのが、今までどのようになっているのかというのはおわかりでしょうか。

進行 はい、お願いします。

教育長 手元に資料がないんですけど、過去4・5年の数字で言いますと、富山地区に限らず、小学校で4%から5%。中学校で15%程度。合わせて小・中で20%くら

いが安房地区から君津地区に出ているということで、富山地区の個別の数字は申し上げられなくて申し訳ないですけど、安房全体とすると、小・中合わせて2割程度が安房地区外に進むというような状況になっています。鋸南町はもうちょっと多くなりますけど。具体的な数字としましては、今の小学校6年生、来年中学生になる子どもたちが、富山小学校は30人ですけど、そのうち6人が君津地区に行くということで報告は受けています。

この傾向が毎年続くとか、あるいは増えていくとか、そういうことは一概に言えないと思いますけど、年度によってはやっぱり変わってくるのかなという。これについては、富山地区だけに限らず安房地区の課題としまして、高校生のとくにできる人間関係というのは、やはりその後の人生に一番大きく影響が出てくると思いますので、できるだけ安房地区で高校生活を送るような方向で頑張っているわけですけど、なかなかこの流れは止められない状況にあります。

委員 ありがとうございます。

今教育長がおっしゃっていたように、やっぱり2割くらいが出ていくというのが現実だということで、私も仲間内で話をすると、富山地区というわけじゃなく館山も含めて、やっぱり中学受験をすとか、もう早いうちから千葉に上がるんだとか、そういったようなことを言っている方がいる中で、人数が減ってくると、たぶんそれがより顕著になるんじゃないかなと私は思っています。やっぱり競争できないというのであれば上ってしまう。

ただ、やっぱり私も高校時代の友達とか中学校時代の友達がこの地域にいるからこそ、この地域で頑張ろうという意識になっている部分がありますので、もう富山地区・富浦地区とかと言っているレベルじゃなくて、もう本当にもっと広域的なところの話を含めてやるのであれば、やっぱり富浦の方の御意見もあると思いますけども、富山地区は上りやすい位置にあるというのが正直なので、たぶん余計に皆さんは危機感といった部分も切実にあるのかなというふうに思いますので、なかなか難しいと思うんですが、ぜひ早めにこういったことを進めていただけると非常にありがたいなというふうに思っております。

以上です。

進行 ありがとうございます。

他に御質問等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、次第の5、議事に移る前に報告がございます。本日の出席委員は、17名中16名であり、過半数に達しておりますので、設置要綱第7条第2項により、会議は成立します。

次に、本検討委員会は、設置要綱第7条第4項により、公開となっておりますので、傍聴の申し出がありましたら、会場の傍聴席に入っていただきます。

また、市のホームページに本検討委員会の委員名簿を掲載しますので、所属及び氏名を掲載することの御了解をお願いいたします。

以上で、報告を終わります。

5 議事

進行 それでは、次第の5、議事に移ります。

設置要綱第7条第1項の規定により、委員長に議長をお願いいたします。

議長 それでは、よろしくをお願いいたします。

会議は、設置要綱第7条第4項の規定により、公開とすることになっておりますので、傍聴の申し出がありましたら、これを許可します。

傍聴の申し出はございますでしょうか。

進行 あります。

議長 入室をしていただいでください。

《傍聴人着席》

議長 傍聴者の方に申し上げます。傍聴者には、発言権がございませんので、御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

議事の「(1) 今後の日程等について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、次第の5、議事の(1)「今後の日程等について」、御説明いたします。

富浦地区での検討が今年度については保留ということになっていることから、富山地区においては本日が今年度最後の会議となり、次年度へと引き継ぎになります。令和8年4月になりましたら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行います。引き続き検討委員をお受けいただく方もいらっしゃると思いますが、改めて推薦をいただくようお願いいたします。

また、交代される委員の皆様につきましては、新たに選出される方々とお話する機会がもしあるようでしたら、これまでの会議の内容について引き継ぎをお願いいたします。事務局としても、令和8年度1回目の会議において、これまでの振り返りを行う予定です。

推薦の報告を受けた後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行います。手続きが完了次第、正副委員長と相談の上、令和8年度の1回目の会議日程を決定したいと思います。委員の皆様や関係者の皆様には、後日、通知にて開催日程を御案内したいと思います。

以上で説明を終わります。

議長 ありがとうございます。

ただ今、事務局から説明がありました。

それでは、今後の日程について、御意見・御質疑等があれば御発言を願います。

何かございますでしょうか。

《しばらくの間》

議長 それでは、ないようですので、お諮りをいたします。

今後の日程については、事務局の提案どおり、正副委員長と事務局によって調整の上、決定することとしてよろしいでしょうか。

《異議なしの声あり》

議長 異議なしのようですので、これを認めます。それでは、提案どおり正副委員長と事務局にて調整の上、決定をいたします。

以上で本日の議事が終了いたしましたので、傍聴人は退席をお願いいたします。

《傍聴人退席》

議長 以上で本日の議事が終了いたしました。事務局に進行をお返し申し上げます。よろしく申し上げます。

進行 議事の進行、ありがとうございました。

6 その他

進行 それでは、次第の6、その他ですが、事務局から2点お知らせがございます。

事務局 それでは、その他について、2点御説明いたします。

まず1点目、本日の会議録について。本日の会議録について、市のホームページに掲載したいと考えておりますので、御了承ください。

2点目、下半期分の報償費の支払いについてですが、本日までの出席数をもって口座振り込みさせていただきます。御了承いただきたいと思います。

以上です。

7 閉会

進行 事務局からは以上となります。

それでは、以上をもちまして、富山地区学校再編検討委員会第6回会議を閉会いたします。

御協力ありがとうございました。